



ガールスカウト子どもの居場所 子ども教室活動事例

取り組み事例①…福岡県支部

教室名

「わいわい広場」

◆福岡県第7団 前原清美



にぎやかにおみこし作り

事業を行うきっかけ・ねらい

平成16年より2ヶ月に1回、集会の延長として取り組んでいます。今回は毎年手作りのおみこしで参加しているお祭りに、より多くの子どもたちと参加する楽しさを共有できたらと企画をしました。

伝統的な地域の行事に関心を持ち、受け継いでいってほしい。そして創作する楽しさや完成の喜びを味わう中から「自分にもできるんだ」ということに気づくこと、協力し合うことでいろいろな作品を作り上げることができるということにプログラムのねらいをおきました。

地域への貢献

「見るお祭り」から「参加するお祭り」へと変わっていったのが良かったという声を聞き、参加者の保護者に対しては、完成したものを与えるだけでなく、**創意工夫**をすることにより、子どもたちは子どもたちなりに楽しむことができるということを伝えることができました。

事業を行う上での工夫

・継続参加者の名札を作り、**参加シールを貼る**ことにより、「次回も来たい」という意欲を持たせ、受付をする時から楽しんでもらうようにしたこと。

・身近な材料を使って、年齢に応じて協力し合って作るようにしたこと。

広報活動での工夫

・**次回の内容の予告**を行う。
・幼稚園や公民館へのチラシ配り、市の広報誌や新聞の地域版への掲載。
・後援依頼を市の教育委員会をお願いしたことで、保護者からの安心を得ることができた。

取り組みの成果

この事業を通常のプログラムとして年間プログラムの中に取り入れてきましたが、「もっと参加してみたい、挑戦してみたい」と**10人近くの会員が増えました!**定期的に行ったことで地域へのアピールに大きく貢献したようです。

取り組み事例②…長野県支部

教室名

「キッズマナー教室」

◆長野県第5団 笠原世為子



「和食のマナー」教室の様子

事業を行うきっかけ・ねらい

ガールスカウトの保護者、特に父親から初歩的なマナーを身につけさせたいという要望が多数あり、マナーを学ぶことから社会人として住みよい人間関係を作り、親切でやさしい対応のできる人になれるよう、プログラムの企画をしました。

事業の内容

さまざまなマナーの基礎を学ぶため、教室を毎月第4土曜日に開催することに決めました。対象をブラウニー・ジュニア年代とし、毎回専門の講師に来ていただきました。参加者の募集にあたっては**教育委員会や公民館などの行政の協力**を得て、マスコミやロータリークラブなどの団体に積極的に働きかけ、準備段階からテレビの取材を受けて進めていきました。そのため反響も大きく、特に学校単位の応募が多くあり、すぐに定員オーバーとなってしまいました。これは今まで学校でも家庭でもなかなかマナーに対するきちんとした対処ができていなかったためではないかと思われます。

◆人気の高かったマナー教室

・招待されたときのマナー
(抹茶のいただき方)

・ゆかたの着付け
・ことばのマナー
(言葉づかいのロールプレイ)

事業を行う上で工夫したこと

事前の準備や打ち合わせなど、1回の教室を開くために何回も集まって内容を検討し、充実を図ったこと。

広報活動での工夫

教育委員会や公民館など、行政の協力を得たり、地元のマスコミやロータリークラブなどの団体に働きかけ、**準備段階からの広報**に努めたこと。

取り組みの成果

参加者にも地域からも、また大変喜ばれており、保護者に対しては「**地域で子どもを見守りましょう**」という姿勢を伝えられたように思います。

関係団体連絡先等登録票

運営協議会名	CONE 地域子ども教室推進事業運営協議会
問い合わせ先	
(団体名)	特定非営利活動法人 自然体験活動推進協議会(通称CONE)
(担当者名)	内村美紀
(連絡先)	
TEL	03-5363-2501
FAX	03-5363-2502
E-mail	uchimura@www.cone.ne.jp
(ホームページ)	http://www.cone.ne.jp
広報のポイント	<p>1. 自然体験活動推進協議会の特色</p> <p>CONEは、自然体験活動の推進を図ることを目的に1999年に設立されました。全国約270団体の会員および自然体験活動指導者約32,000人で組織する団体です。自然とふれあい、自然に学び、また人と交流することで、持続可能な社会づくりにつながる良質な自然体験活動を推進する活動をしています。</p> <p>2. CONE 地域子ども教室の展開と特色</p> <p>地域こども教室は、CONEの会員が地域と連携しながら実施しています。子ども達が身近な自然で、同世代だけでなく地域の大人達と交流しながら、体験的な活動を行っています。安全で楽しい活動を行うために、指導は技能と知識を持った自然体験活動指導者が担当しています。</p> <p>3. 自然体験活動推進協議会の活動内容</p> <p>自然体験活動の推進のために主に3つの活動を主にしています。</p> <p>(1) 自然体験活動の指導者を養成する指導者の養成</p> <p>(2) 自然体験活動指導者の登録</p> <p>(3) 自然体験活動に関わる調査研究</p> <p>4. 会員の活動内容</p> <p>安全で楽しい様々な自然体験活動を全国で展開しています。</p> <p>(地域子ども教室における活動事例)</p> <p>海遊び、漁業体験、スノーケリング、カヌー、川遊び、野外料理、野鳥観察、自然観察、間伐、炭焼き、山登り、ハイキング、農作業、米づくり、昔遊び、ネイチャーゲーム、ツリークライミング、木工、工作、伝統工芸体験、など</p> <p>5. 会員の活動エリア</p> <p>海、川、河、山、森林、里山、畑、公民館、公園、空き地など</p>